事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	38737
事業名	再エネ100%電力導入促進費					
評価担当課	所　属	環)環境都市推　環境エネルギー			電話番号	011-211-2872
施策名	脱炭素社会の早期実現に向け、更なる省エネルギー化に加え、北海					
アクションプラン	● 対象　○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費　● 臨時的経費			○ 内部管理　○ 法定経費　○ 指定管理費		
	○ 直営　● 一部委託　○ 全部委託　○ 補助・助成　○ その他					

事業内容	事業の背景（現在の状況、社会的課題）	札幌市気候変動対策行動計画の2030年の成果指標である市内電力消費量に占める再生可能エネルギーの割合50%と、温室効果ガス排出削減目標である2016年比55%の削減の達成に向けて、市有施設に再エネ100%電力の導入を進める。
	事業内容（何を実施し）	＜事業内容＞ ・市有施設への再エネ100%電力の導入 札幌市の象徴的な施設を優先し、電力調達入札の際「RE100technical criteria」の要件を満たす電力を条件とし、再生可能エネルギー100%電力の導入を進める。 ＜活動実績＞ ①市役所本庁舎 令和4年10月より導入し、令和5年度も継続して供給を行った。 供給電力量：約275万kWh CO2削減量：約1，500t ②札幌駅前地下歩行空間 令和5年8月より導入した。 供給電力量：約122万kWh CO2削減量：約660t
	どのような状態にしたい（状態を維持したい）	市有施設へ供給する電力を再エネ100%電力とすることで、2050年ゼロカーボンシティを実現する。
	他都市の状況	東京都、新潟市、川崎市、横浜市、静岡市、名古屋市、京都市、福岡市、北九州市で類似の事業実施。
	市民参加の実施	□ 企画　□ 実施　□ 評価　■ 対象外

令和4年度決算額	7,819　千円	うち特定財源	3,520　千円	正規職員業務量	1.3　人工
令和5年度予算額	12,000　千円	うち特定財源	0　千円	正規職員業務量	1.3　人工
令和5年度決算額	11,923　千円	うち特定財源	0　千円	正規職員業務量	1　人工
令和6年度予算額	14,000　千円	うち特定財源	0　千円	正規職員業務量	1.3　人工

指標

アウトプット 活動指標1：市有施設への再エネ電力導入施設数（施設）　という活動、業務を行うことで

令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
1	2	2	3	4	5

↓

アウトカム 成果指標1：市有施設の電力消費量に占める再生可能エネルギーの割合　という状態にしたい、成果を挙げたい

令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
28.2	44.8	25.9	51.7	58.6	65.5

指標1の評価、未達理由、今後の考え方：活動指標1は、目標を達成することができた。成果指標1の令和5年度実績は、集計・公表するのに2年を要するため、当年度に把握した前年度値となっている。目標には到達しなかったが、引き続き再エネ導入の拡大に向けて取り組みを進める。

アウトプット 活動指標2：　という活動、業務を行うことで

令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定

↓

アウトカム 成果指標2：　という状態にしたい、成果を挙げたい

令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定

指標2の評価、未達理由、今後の考え方：

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	市有施設へ再エネ100%電力を導入することにより、札幌市気候変動対策行動計画の2030年の成果指標達成に向けて事業を進める。